



科コード 14301	科 名 ファッショングッズ基礎科1年	単 位	2単位
科目コード 501800	科目名 色彩論・演習	授業期間	通年

担当教員(代表)：天野豊久	共同担当者：
---------------	--------

教育目標・レベル設定など ファッション分野のクリエイションで色彩を活用することを想定し、基本的な配色方法を中心に色彩の基礎を学習する。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、 テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、			
1. 導入 色について		〈講義 1コマ〉	
2. 色の三属性	色の三属性(色相・明度・彩度) 等色相面/色立体 Hue & Tone システム	〈講義および演習 6コマ〉	
3. 配色の基礎	色相を基準とした配色/トーンを基準とした配色 無彩色の配色の配色 配色(色彩構成)の考え方 ベースカラー/アソートカラー/アクセントカラー/セパレーションカラー シンメトリー/アシンメトリー/レピテーション/グラデーション	〈講義および演習 8コマ〉	
4. 色彩心理	色彩の感情効果/連想/イメージ 色の見え 対比現象/同化現象 膨張性/進出性	〈講義および演習 5コマ〉	
5. 色彩理論	光、眼と色 三原色と混色	〈講義 2コマ〉	
6. ファッションカラーコーディネーション	ファッションカラーコーディネーション トーン・オン・トーン/フォ・カマイユ/トーン・イン・トーン/トータル	〈講義および演習 3コマ〉	
7. 配色の展開	・絵画の配色分析と配色への展開 ・色相の移調/トーンの移調	〈講義および演習 5コマ〉	

評価方法・対象・比重 S・A～C・F評価 評価基準：学業評価70% 授業姿勢30%

主要教材図書 『ファッション色彩I』(文化出版局)
参考図書 特になし
その他資料 Color Chart、ベーシックカラー140

授業の特徴と担当教員紹介 色の知識や実用的な活用術のコンサルタント経験をもとに、ファッション分野のクリエイションで色彩を活用することを想定し、基本的な配色方法を中心に色彩の基礎を学習する

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14301	科 名 ファッショングッズ基礎科 1 年	単 位	4 単位
科目コード 300500	科目名 アイテム演習 帽子	授業期間	通年

担当教員(代表)：菅原由美	共同担当者：板野景子
---------------	------------

概要(教育目標・レベル設定など 200 字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

各部の名称、形と素材の種類、頭蓋型や採寸方法など帽子の一般知識を習得し、素材の特徴に合ったデザインの発想、トリミング(装飾)など、全体のバランスを考える。
ブレード、夏物帽体、冬物帽体、コットン芯など帽子専門の材料の特徴を理解し、木型や専門道具を使用して制作。
基礎作図・基礎作図からの展開方法、仮縫い、縫製方法、生地や芯の扱い方を理解し布帛の帽子を制作。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	オリエンテーション	16	仮縫い、裁断・縫製
2	帽子の基礎縫い	17	
3	ブレード帽子(基礎巻き)	18	
4	夏物帽体帽子の制作	19	仕上げ・提出
5		20	冬物帽体(フェルト帽体)帽子の制作
6	仕上げ・提出	21	
7	ベレー基礎作図	22	
8	布帛ベレーの制作	23	仕上げ・提出
9		24	カクテルハットの制作
10		25	
11	仕上げ・提出	26	
12	クロッシェ基礎作図(クラウン)	27	
13	(プリム)	28	仕上げ・提出
14	布帛クロッシェの制作	29	学年末試験の説明・作品発表
15	仮縫い		

評価方法・対象・比重 テーマ別作品評価・期末試験：出欠・授業姿勢 8：2

主要教材図書 ファッション工芸講座 帽子

参考図書 The HAT magazine

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

企業にて素材選びから縫製までをととして帽子作りを行い、その活動経験をもとに、帽子各部の名称、形と素材の種類、頭蓋型や採寸方法などの一般知識を習得し、素材の特徴を活かしたデザイン発想、装飾や全体のバランスを考える。ブレード、夏(冬)物帽体、コットン芯など帽子専門の材料の特徴を理解し、木型・専門道具を使用して制作。基礎作図、展開方法、仮縫い、縫製方法、生地や芯の扱い方を理解し布帛の帽子を制作する授業を実施

記載者氏名 菅原 由美

2019年度 カリキュラム科目概

文化服装学院教務部

科コード 14301	科 名 ファッショングッズ基礎科 1 年	単 位	2 単位
科目コード 305010	科目名 ハンディクラフト I	授業期間	通年

担当教員(代表)：白戸 薫	共同担当者：
---------------	--------

概要(教育目標・レベル設定など 200 字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

各種のクラフトテクニックを、エンブroidアリーと布の加工に大別し、基礎的なテクニックを幅広く学習する。特に、帽子・バッグ・シューズ・アクセサリ等のグッズ制作に、応用することをイメージしながら実習させる。併せて、学習したテクニックが使われている実際の商品などの資料を集め、ブックの形式で完成させる。それにより、テクニックだけにとらわれない応用性を身につけさせる。

授業計画＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

*エンブroidアリー

- ・カラーエンブroidアリー 刺しゅうの中で、代表的な色系刺しゅうの基本的なステッチの実習
- ・ステッチの応用 ボリュームのあるステッチの実習 より多種多様なステッチの習得
- ・キャンバスワーク 基本的なステッチを用いながら、織り糸を数えて刺すテクニックの実習
- ・コードエンブroidアリー 紐状のものを布に止め付けていくテクニックの実習
- ・ビーズ/スパングルエンブroidアリー 服飾素材の扱い方の基本テクニックの実習
- ・ミラーワーク ミラーの止め付け方のテクニックの実習
- ・ビーズ/スパングルエンブroidアリーの応用 オリジナルの図案をデザインしモチーフを制作

*布の加工

- ・スモッキング ベーシックスモッキングのうち柄布(ギンガム)を使ったテクニックの実習
- ・カットワーク 布にステッチをして切り抜き、透かし模様を表現するテクニックの実習
- ・フリル/ギャザー/ヨーヨー ファブリック マニピュレイティング(布加工)の代表的なテクニックの実習
- ・ドロンワーク 糸抜きした部分にかがりを入れ、透かし模様を表現するテクニックの実習
- ・リボンワーク 幅広いテープ状のものを装飾的に加工するテクニックの実習
- ・ラティススモッキング 布を裏面からつまむことによる陰影の表現のテクニックの実習
- ・キルティング 布を部分的にふくらませて、レリーフ状に加工するテクニックの実習
イタリアンキルティング/イングリッシュキルティング

*レース

- ・マクラメ 紐やコードを手で結んで模様を表現するテクニックの実習

*応用作品 オリジナルの図案をデザインし、それに合った材料や技法の選び方の総合学習

*ブックの制作 学習した技法の総括として、資料と共に構成する

評価方法・対象・比重 制作物の評価にブックの採点をプラス

主要教材図書	文化ファッション講座 工芸2 手芸
参考図書	
その他資料	各種技法サンプル 講師作成プリント類

授業の特徴と担当教員紹介

ニット企業でのニットデザイナーを経て、フリーでハンディクラフトを生かした作品制作(キッズニット・編みぐるみ・バッグ・ニット帽など小物からインテリアグッズまで)・雑誌等の活動経験をもとに、クラフトテクニックをエンブroidアリーと布の加工に大別し、基礎テクニックを幅広く習得する。帽子・バッグ・シューズ・アクセサリ等のグッズ制作に応用することをイメージしながら実習する授業を実施

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14301	科 名 ファッショングッズ基礎科	単 位	1 単位
科目コード 004800	科目名 クリエイション演習	授業期間	1 年間 (14 コマ)

担当教員(代表) : 加瀬浩嗣	共同担当者 :
--------------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など 200 字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

デザインの基本を踏まえながら、学生の創造力・発想力を豊かにしていく。年間を通して平面～立体～空間と、考える領域を変化させて授業を展開していく。個人作業とグループワークを織り交ぜ、現代社会での重要性が増しているコミュニケーション能力も鍛えていく。

授業計画＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

- 1 デザインの発想方法
- 2 描写の発想方法
- 3 色彩の表現方法
- 4 混色の作業
- 5 構成のバランスを学び、実践で鍛える
- 6 前期講評会
- 7 プレゼンテーションというもの～Presentation1
- 8 アーチストを知る、人に伝える
- 9 リ・デザインをする～先入観を取り払い、新たに作品を構築する
- 10 作品講評会
- 11 たまごを想像する「WHAT'S EGG」
- 12 作成した作品を各自プレゼンする
- 13 BOXの中身を想像する「BOX/BOX」
- 14 後期総合講評会～まとめ～

評価方法・対象・比重

評価基準：学業評価 50%、授業姿勢 50%

授業によって個人やグループワーク、授業時間内で仕上げる作品を基本に考えている。

そして各々の作品発表ができる講評会を設けてる。

主要教材図書 なし

参考図書 課題ごとに持参する

その他資料 プリント資料を配布

授業の特徴と担当教員紹介

商品のパッケージデザイン、広告デザイン、空間デザインなど様々な企業のデザインを手掛けてきた活動経験をもとに、デザインの基本を踏まえながら、平面～立体～空間と考える領域を変化させて授業を展開していき、学生の創造力・発想力を豊かにしていく授業を実施。個人作業とグループワークを織り交ぜ、コミュニケーション能力も鍛えていく

記載者氏名 加瀬浩嗣

2019度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14301	科 名 ファッショングッズ基礎科 1 年	単 位	2 単位
科目コード 980010	科目名 特 別 講 義 I	授業期間	通年

担当教員(代表)：青木 克江	共同担当者：
----------------	--------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <p>専門科目、通常科目の他に学外の専門講師による講義や、他分野の講師による講義を通し、幅広い知識を得て視野を広げる。同時に個々の目的とする職能を確認し位置づける</p>

<p>授業計画＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コレクション情報 (ファッションの動向と最新コレクションの解説) 講義 1コマ ・皮革について(皮革の種類や革が出来上がるまで) 講義 2コマ ・心理学(コミュニケーション能力開発) 講義 2コマ ・VMDについて(ファッショングッズ商品のプレゼンテーション方法) 講義・実習・講評会 5コマ ・流行色解説 講義 1コマ ・仕事とは？(キャリア開発) 講義・実習 6コマ ・ファッション業界とは(ファッション業界の仕組みと業種、その仕事について) 講義 1コマ ・ファッショングッズデザイナーについて(学生時代にすべき事) 講義 1コマ ・カメラワーク(作品集制作のための写真の撮り方の基礎) 講義・実習 4コマ ・作品集制作の心構え 講義・実習 2コマ ・SNSトラブルと著作権について 講義 2コマ ・デザイナーの仕事について 講義 1コマ ・日本の生活文化(風呂敷)について 講義・実習 1コマ ・シューズデザイナーの仕事について 講義 1コマ ・職人の仕事について 講義 1コマ

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>履修認定(P表示)</p> <p>評価基準：学業姿勢・出欠状況を元に、履修認定の是非を決定する。</p>

主要教材図書 なし
参考図書 なし
その他資料 なし

<p>授業の特徴と担当教員紹介</p> <p>皮革について、ビジュアルマーチャンダイジングについて、流行色解説、ファッショングッズデザイナーについて、作品集制作のためのカメラワーク、職人の仕事についてなど様々な業界で活躍する方々より、幅広い知識を得て視野を広げ同時に個々の目的とする職能を確認し位置づけさせる授業を実施</p>

記載者書名欄 青木 克江

2019年度 カリキュラム科目概要



文化服装学院教務部

科コード 14502	科 名 バッグデザイン科 2年	単 位	3単位
科目コード 302500	科目名 バッグハンドワーク	授業期間	通年

担当教員(代表): 荒関 史伸	共同担当者:
-----------------	--------

概要

前期 手縫いの基本をマスターさせ、手縫いによる小物(財布、ペン立て等)ができるほどのレベルにもっていく。

後期 手縫いの技法のいくつかを使用し、ビジネスバッグ製作ができるほどのレベルにもっていく。

授業計画＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

コマ	内 容	コマ	内 容
1 ～ 2	手縫いの基本的な技法 (2コマ) ・ 道具の説明 ・ 平縫い (糸の準備、菱目打ちの革への穴の開け方、縫い方など)	12 ～ 18	全員同じパターンによるペン立ての作製 (6コマ) ・ すくい縫いの説明、練習 裁断、縫製 仕上げ
3 ～ 10	全員同じパターンによる2つ折り財布の作製(8コマ) ・ パターン作製 裁断、念引き、手縫いによる縫製、 コバ磨き、仕上げ	18 ～ 19	手縫い技法の復習(2コマ) ・ 習った手縫い技法の実習による復習 ・ 装飾的手縫いの実習
11 ～ 12	菱切りの研ぎ方について (2コマ) ・ 研ぎ実習	20 ～ 42	手縫いの技法、装飾的な手縫いを使用したビジネスバッグ製作(22コマ) ・ 装飾的な手縫いの例をいくつか紹介 ・ デザイン画 ・ バッグ製作(和紙による立体作製、パターン作製、 裁断、すき、下張り、縫製) ・ 仕上げ ・ 作物の発表会

評価方法・対象・比重

S～C・F評価 評価基準：学業評価50%、授業姿勢50%

主要教材図書	文化ファッション工芸講座③バッグ
参考図書	なし
その他資料	文化ファッション講座工芸②手芸

授業の特徴と担当教員紹介

個人事業主としてバッグ製作の下請けや、企業にてバッグサンプル製作するなどの活動経験をもとに、手縫いの基本から小物製作・ビジネスバッグ製作の授業を実施

記載者氏名 荒関 史伸

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14502	科 名 バッグデザイン科 2年	単 位 1
科目コード 305020	科目名 ハンディクラフト II	授業期間 前期

担当教員(代表)：白戸 薫	共同担当者：
---------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

ハンディクラフト I で学習したクラフトテクニックの応用。エンブroidアリー・布の加工の他にレースのテクニックも含めより高度で広範囲なテクニックの習得を目指す。バッグなどの皮革製品への応用を念頭に、よりクリエイティブな力を養うことを目標とする。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

＊布の加工：レリーフライク表現

- ・イタリアンスモッキング 布の縫い縮め方による新しい表面効果のテクニックの実習
- ・ピンチング 布を裏面からつまみ縫いし、模様をつくるテクニックの実習
- ・ファンシープリーツ 固定したプリーツを部分的に起こし、陰影を表現するテクニックの実習

＊レース

- ・ファゴティング 布と布の間をかがりて透かし模様を表現するテクニックの実習
- ・ニードルポイントレース コードを用いて作った空間に、かがりて透かし模様を表現する
テクニックの実習
- ・クロッシェ 編み物の種類のうち、かぎ針を使ったテクニックの実習
基礎編/モチーフ

＊エンブroidアリー

- ・ニードルワーク オリジナルな図案をデザインしキャンバスワークで表現するテクニックの実習
(キャンバスワークの応用)
- ・ドロンワークの応用 皮革にスラッシュをあげ、ドロンワークのテクニックでかがりをし
透かしの効果を表現する フェルトや皮革で実習

評価方法・対象・比重
制作物を主な評価とする

主要教材図書 文化ファッション講座 工芸2 手芸

参考図書

その他資料 各種技法サンプル 講師作成プリント類

授業の特徴と担当教員紹介

ニット企業でのニットデザイナーを経て、フリーでハンディクラフトを生かした作品制作(キッズニット・編みぐるみ・バッグ・ニット帽など小物からインテリアグッズまで)・雑誌等の活動経験をもとに、1年生で学んだテクニックの応用。レースのテクニック、特殊な材料も使用し帽子・アクセサリーの応用などさらにクリエイティブな力を養う授業を実施

記載者氏名 白戸 薫

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14502	科 名 ファッション工芸科バッグデザイン科2年	単 位	2単位
科目コード 600900	科目名 ファッションマーケティング	授業期間	通年

担当教員(代表)：砂生 政信	共同担当者：
----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

- ・マーケティングの基本を学び、市場の細分化とその特徴を理解する。
- ・マーケティングのプロセスにそって、市場に適合したブランド設計を行い、目的を実現させるための戦略について学ぶ。

授業計画＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、＜通年：27コマ＞

- | | |
|----------------------------|-----------------------------|
| 1. アパレル産業構造と職種（講義・演習×1コマ） | 8. 課題説明（講義・実習×1コマ） |
| 2. マーケティングとは（講義・演習×2コマ） | ・マーケティングからのブランド設計 |
| ・マーケットとは・マーケティングとは | 9. ブランド企画のステップ（講義・実習×2コマ） |
| ・リサーチの基本とヒアリングリサーチの実施 | ・目標の抽出 |
| ・ヒアリングリサーチのまとめとプレゼン | ・ブランドコンセプトとターゲット設定 |
| 3. 業態区分（講義×1コマ） | 10. リサーチの実施（実習×1コマ） |
| 4. 4Pとマーケティングミックス（講義×1コマ） | ・ヒアリング・メディア・ショップリサーチの実施とまとめ |
| ・4Pと4Cの考え方 | 11. 企画書構成説明（講義×1コマ） |
| 5. マーケティングのプロセス（講義・演習×1コマ） | 12. 企画書作成（点検・実習×9コマ） |
| ・STPマーケティング | ・ブランド概要の設定 |
| ・ブランドポジショニング | ・ターゲットライフスタイル分析 |
| 6. マーケティングのプロセス（講義・演習×3コマ） | ・ポジショニングマップの作成 |
| ・ターゲット設定 | ・メインアイテムとメインデザインの設定 |
| ・ターゲットライフスタイル分析 | ・スタイリング提案 |
| ・ライフスタイルマップの作成・プレゼン | ・チャネル設定とプロモーション |
| 7. 情報とは、ブランドとは（講義×1コマ） | 13. プレゼンテーション（発表×2コマ） |
| ・情報メディアの活用 | 14. 作品展示会（展示×1コマ） |
| ・ブランドの考え方と理解 | |

評価方法・対象・比重

- ・S～C・F評価
- ・評価基準：学業評価 80%、授業姿勢 20%

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 配布プリント

授業の特徴と担当教員紹介

デザイナー、セレクトショップの経営、モノづくりの視点を取り入れた実務的な経験をもとに、マーケティングの基本を学び、市場の細分化とその特徴を理解し、プロセスによって市場に適合したブランド設計を行い目的を実現させるための戦略について学ぶ

記載者氏名 砂生 政信

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

学科コード 14002	科目名 帽子・アクセサリー・バッグ・ケースデザイン科 2年	単 位	1
科目コード 904600	科目名 キャリア開発(コミュニケーション)	授業期間	前期

担当教員：長谷川直美	共同担当者：
------------	--------

教育目標・レベル設定など

- ・将来を考えるテーマについて、「聴く」「書く」「話す」などのコミュニケーションスキル・プレゼンテーションスキルを講義+実習を通して身につけさせる

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

1. 自分のことを伝える・相手のことを理解する
2. キャリア開発について考える
3. 社会人について考える
4. 自分のことを考える(成長目標設定)
5. コミュニケーションスキルの理解と習得
6. コミュニケーションスキルの習得と実践
7. コミュニケーションスキルの実践
8. コミュニケーションスキルの実践
9. 自分の強み発見
10. プレゼンテーションスキル理解と習得
11. プレゼンテーションスキルの習得と実践
12. プレゼンテーションスキルの実践
13. 「半年間で学んだこと」発表
14. 「半年間で学んだこと」発表、まとめ

以 上

評価方法・対象・比重

- ・出欠席、受講態度、実習(グループディスカッション練習、プレゼンテーション練習)参画度

主要教材図書

なし

参考図書

なし

その他資料

なし

授業の特徴と担当教員紹介

企業の人事部において採用・社員研修担当、人事開発研修企画担当、企業研修・人事担当者向け講座、大学生向け就職対策講座の企画、講師などの活動経験をもとに、「聴く」「書く」「話す」などのコミュニケーションスキル、プレゼンテーションスキルを講義と実習をととして授業を実施

記載者署名欄 長谷川直美

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	14502	科 名	バッグデザイン科2年	単 位	2単位
科目コード	980020	科目名	特別講義 II	授業期間	通年

担当教員(代表): 山内 祐子 ・ 田中 美登里	共同担当者: 青木 克江
--------------------------	--------------

教育目標・レベル設定など
多方面にわたる講師の講義を通して、広い視野と高い専門性、豊かな人間性について学ぶ。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先など		
1. コレクション情報・・・・・・・・・・講義	2コマ	講師: 萩原 輝美
2. トренд情報・・・・・・・・・・講義	2コマ	講師: 岡村 嘉子
3. スタイリングにおけるファッション小物・講義	1コマ	講師: 藤 裕美
4. ファッショングッズのクリエーション・講義・実習	2コマ	講師: 石澤 彰一
5. 服飾小物における事業展開・・・・・・・・講義	1コマ	講師: 古茂田 一宏
6. 作品集の制作テクニック・・・・・・・・講義・実習	3コマ	講師: 服部 あゆみ
7. セレクトされる商品とは?・・・・・・・・講義	1コマ	講師: 小山 奈々子
8. お金について(人生のデザイン講座)・・講義	2コマ	講師: 橋本 長明
9. バスケットタリー・・・・・・・・・・講義・演習	4コマ	講師: 関島 寿子
10. バッグデザイナーの仕事・・・・・・・・講義	1コマ	講師: 齊藤 美子
11. アートフラワー・・・・・・・・・・実習	4コマ	講師: 久保田 桂子
(バッグ素材論)		
12. 皮革について・・・・・・・・・・講義	2コマ	講師: 富田興業株式会社
13. 金具・ファスナーについて・・・・・・・・講義	2コマ	講師: 浮田産業株式会社
14. 繊維・化成品について・・・・・・・・講義	1コマ	講師: トップラン株式会社
15. 輸入皮革・レザーカービング・・・・・・・・講義・実習	2コマ	講義: 株式会社協進エル

評価方法・対象・比重
出欠・レポート

主要教材図書
参考図書
その他資料

授業の特徴と担当教員紹介
ファッショングッズのクリエーション、服飾小物における事業展開、作品集の制作テクニック、バスケットタリー、バッグデザイナーの仕事、アートフラワー、皮革について、金具・ファスナーについて、繊維・化成品について、輸入皮革・レザーカービングなど様々な業界で活躍する方々より、広い視野と高い専門性、豊かな人間性について学ぶ授業を実施

記載者書名欄 田中 美登里

科コード 14602 科 名 帽子・ジュエリー・バック・シューズデザイン科 2 年
科目コード 904720 科目名 キャリア開発Ⅱ（就職対策）

単 位 1
授業期間 後期

担当教員(代表)： 杉本 直鴻

共同担当者：

教育目標・レベル設定など

・ 学生が志望する就職先に内定するために必要な「就職力」を講義＋実習を通して身につけさせる

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

1. 就職活動の進め方（…講義 1 コマ）

企業の採用スケジュールとは、採用活動の後ろ倒しとその影響、就職活動の進め方

2. 言葉遣い（…講義＋実習 1 コマ）

正しい言葉遣い、敬語、ビジネス会話

3. 電話・Eメール（…講義＋実習＝1 コマ）

電話のマナー、Eメールのマナー

4. 会社訪問・店舗見学（…講義 1 コマ）

会社訪問・店舗見学、OB・OG訪問、各注意点

5. 履歴書・エントリーシート（…講義＋書き方実習＝2 コマ）

選考を通る履歴書・エントリーシートのポイント

6. 面接（…講義＋実習＝2 コマ）

コミュニケーションスキル向上と試験対策

7. グループディスカッション（…講義＋実習＝2 コマ）

コミュニケーションスキル向上と試験対策

8. 作品プレゼンテーション（…講義＋実習＝3 コマ）

プレゼンテーションスキル向上と試験対策

9. 内定から入社まで（…講義＝1 コマ）

内定の意味、誓約書、承諾書、内定式、入社前研修、労働法規の理解

全 1 4 コマ

評価方法・対象・比重

・ 出欠席、受講態度、実習（面接練習、グループディスカッション練習、プレゼンテーション練習）参画度

主要教材図書

「就職対策 第7版」

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

人材教育コンサルタント、イメージコンサルタントとしての活動経験をもとに、学生が志望する就職先に内定するために必要な「就職力」を講義と実習をとおして授業を実施

記載者署名欄 杉本 直鴻

2019年度 カリキュラム科目概要



文化服装学院教務部

科コード GD	科 名	バッグデザイン科 3 年	単 位	1 単位
科目コード	科目名	革小物 制作実技	授業期間	(前期)

担当教員(代表) : 角森 智至	共同担当者 :
------------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など 200 字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

革小物(財布、カードケース等)の基礎知識と、専門的な縫製テクニックの習得を目標とする。

小物制作特有の革漉きや縫製準備、ミシン縫製など制作実習を通して学ぶ。また、就職先業界の製造現場で使用している裁断機(クリッカー)を使用した裁断実習を行い、機械の使用方法を身に付ける。

授業計画=テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

- | | | | |
|----|---------|-------|------|
| 1. | 2 つ折れ財布 | 10 コマ | 制作実技 |
| 2. | カードケース | 4 コマ | 制作実技 |

評価方法・対象・比重
S~C・F評価 評価基準: 学業評価 80% 、授業姿勢 20%

主要教材図書
なし

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

靴企業でランドセルの製造知識、革小物製品の製造・開発知識、生産管理・品質管理業務の知識を習得し、その後自社ブランドを立ち上げ製品の企画デザイン、製品開発、生産管理、品質管理などものづくり全般の管理とデザイン業務や運営の活動経験をもとに、革小物の基礎知識と専門的な縫製テクニックの習得を目指す。小物制作特有の革漉きや縫製準備、ミシン縫製などを制作を通して学び、就職してから業界の製造現場で使用している裁断機を使用した実習や機械の使用方法を身に付ける授業を実施

記載者氏名 角森 智至

2019年度 カリキュラム科目概要



文化服装学院教務部

科コード	14503	科 名	バッグデザイン科 3 年	単 位	2 単位
科目コード	500350	科目名	デザインディレクション	授業期間	(通年)

担当教員(代表): 津村 耕佑	共同担当者:
-----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

1つのパーツから繋がり様々な形に変化する事は生命が細胞の集まりだという事と同じである。
自分の好きな形を1つ決める。幾何学的でクールな形でも有機的な形でもOK! サイズや厚み素材、色は自由。
その形だけを使ってバッグ、靴、帽子、アクセサリを作る。余裕があれば服まで制作も構わない。
それらの作品を記録し自分のブランドとして冊子を作り、展示方法を考えていく。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

・授業概要説明、自己紹介	2コマ
・デザイン、制作	12コマ
・作品プレゼン	2コマ
・ポスター制作	6コマ
・展示準備、シミュレーション	4コマ
・展示、講評会	2コマ

【評価方法】

S~C・F評価 学業評価 80% 、 授業姿勢 20%

主要教材図書	なし
参考図書	
その他資料	

授業の特徴と担当教員紹介

アパレルブランドのクリエイションスタッフとしてパリコレクションを経験し、ファッションブランドの立ち上げの活動経験をもとに、造形物を製作していくなかで発想力や感性を磨く授業を実施。製作した造形物のプレゼンテーション、ポスター制作、展示方法まで学ぶ

記載者氏名 津村 耕佑

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14503	科 名 バッグデザイン科 3年	単 位	2 単位
科目コード 605300	科目名 バッグマーチャンダイジング	授業期間	通年

担当教員(代表): 長井 恵子	共同担当者:
-----------------	--------

概要(教育目標・レベル設定など 200 字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

1. 実際のマーチャンダイザーの業務内容を通して、マーチャンダイジング計画の重要性と理解を深める。
2. 各自でマップや計画書を作成し発表することで、実践力とプレゼンテーション力を養う。

授業計画＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

- I. マーチャンダイジング基本計画 講義(6コマ)
 - ① マーチャンダイジング計画の基礎・・・マーチャンダイジングの定義
 - ② マーチャンダイザーの役割・・・マーチャンダイザーの業務、市場の基礎知識
- II. 情報収集と分析 講義8(コマ)
 - ① 情報収集活動・・・市場での情報収集活動、ファッション市場情報源(情報収集の重要性)
 - ② 情報の分析・・・市場情報源、情報の分類(分析結果の活用)
- III. 情報収集活動の実践 マーケットリサーチ、ブランド立案書の作成及びプレゼンテーション(4コマ)
 - ① 都心型FB、郊外型SCをリサーチ・・・リサーチ報告書作成
 - ② 結果分析・・・リサーチ結果に基づき各ターゲット客層のニーズ分析報告書を作成
 - ③ プレゼンテーション・・・各自発表後、全体でディスカッション
- IV. バッグマーチャンダイジング計画 講義(6コマ)
 - ① 商品計画・・・ブランド計画、シーズン計画、商品構成計画(店頭、市場とリンクした計画)
 - ② 計数計画及び店頭計画・・・生産計画、計数管理、販売・VMD計画(クリエイションの数値化)
- V. マーチャンダイジング活動の実践1 商品企画及び販売計画の作成及びプレゼンテーション(2コマ)
 - ① 商品企画及び販売計画・・・テーマに基づきデザイン考案及び販売計画案を作成
 - ② プレゼンテーション及びディスカッション・・・各自発表し意見交換
- V. マーチャンダイジング活動の実践2 MD計画の作成及びプレゼンテーション(4コマ)
 - ① 情報収集及び分析・・・コレクションにおけるトレンド分析
 - ② マーチャンダイジング計画の作成・・・分析結果からシーズンイメージマップ及びMD計画書を作成
 - ③ プレゼンテーション・・・各自で発表後、全体でディスカッション

評価方法・対象・比重

S～C・F評価 学業評価:70%、授業姿勢:30%

すべての課題について評価し、特にV.の「MD基本計画書」「商品構成計画書」「イメージマップ」を重視。

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	なし

授業の特徴と担当教員紹介

企業において展開計画・販売計画の作成、計数管理、メーカーの選択、新規メーカーの開拓、コスト交渉、得意先へのプレゼンテーション、企画開発、納期管理、生産背景及びルートの紹介、サンプル作成、受注、雑貨マーケット情報の伝達などの業務経験をもとに、マーチャンダイジング計画の重要性と理解を深める。各自でマップや計画書を作成し発表することで実践力とプレゼンテーション力を身に付ける授業を実施

記載者氏名 長井 恵子

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14503	科 名 バッグデザイン科 3 年	単 位	1 単位
科目コード 501320	科目名 バッグデザイン画Ⅱ	授業期間	前期

担当教員(代表)：河西 恵美子	共同担当者：
-----------------	--------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <p>バッグデザインワークのうえで即戦力として使えるデザイン画の習得。就職活動に活用できるポートフォリオ(作品集)作成、及び創作デザインの企画構成力を目指して。</p>
--

<p>授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、</p> <p>[ポートフォリオ(作品集)] …8.5 コマ</p> <p>●マイコレクション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ 個々の「作品集」を学習経過の実物作品主体として、資料を効果的にまとめ、就職活動のプレゼン用の一端を担うよう、発表実習も行う。 ・ テーマ設定 ・ コンセプト ・ イメージマップ ・ 彩色デザイン画 ・ 製品図仕様書 ・ アイテムバリエーション ・ 独自のアピールポイントなどを取り入れた構成に。 <p>(デザインと構成、表現内容の工夫や展開スタイルなどを強化)</p> <p>[創作デザインⅡ] …4.5 コマ</p> <p>●コンテスト応募作品</p> <p>●素材研究企画デザイン</p>
--

<p>評価方法・対象・比重 [S～C・F 評価]</p> <p>評価基準：学業評価 80% (課題作品提出物と前期末試験)、授業姿勢 20% (出欠状況, 授業態度を考慮)</p>
--

<p>主要教材図書</p> <p>文化ファッション大系「ファッション工芸講座 バッグ」文化出版局</p>
<p>参考図書</p>
<p>その他資料 ファッション雑誌、著名アーティスト作品写真、素材関係等</p>

<p>授業の特徴と担当教員紹介</p> <p>企業においてジュエリーデザインを担当し、独立後、様々な作品を制作してきた活動経験をもとに、バッグデザインワークのうえで即戦力として使えるデザイン画の習得させる。また、就職活動に活用できるポートフォリオ作成、及び創作デザインの企画構成力を目指す</p>
--

<p>記載者書名欄 河西 恵美子</p>

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14503	科 名 帽子・JD 科/バッグデザイン科/シューズデザイン科 3年	単 位	1 単位
科目コード 605600	科目名 ビジュアルプレゼンテーション	授業期間	前期

担当教員(代表)： 柴田 優香	共同担当者：
-----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

- ・VP の社会的な役割を理解し、コンセプトやイメージに基づいたプランニング～実行までの作業を行う。
- ・「作品」を「商品」として捉えることでよりビジネスに近い提案方法を実践する。
- ・ピンワークのテクニックを学び VP や作品作りに活かす。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

コマ	内 容	コマ	内 容
1	・授業内容説明・実習室説明	10	プランニング (コンセプト・イメージetc)
2	・ピンワーク (アンビエ・ドゥブルピエ・ドレーブ)	11	演出小道具準備
3	・ピンワーク (ギャザリング・タッキング)	12	演出小道具準備
4	5つの手法を使用して演習→ ※次回 VP 個人演習課題内容説明 評価 ↓	13	演習 ↓
5	・VP個人演習 (参考画像・サンプル説明)	14	★評価
6	プランニング		
7	演習		
8	★評価		
9	・VPグループ演習 (課題説明・参考画像・サンプル説明)		

【評価方法】

① 完成作品 ②コンセプトシート ③授業態度 ④出欠状況 総合的に評価

主要教材図書

参考図書 inspiration、ディスプレイ年間

その他資料 オリジナル PowerPoint、画像

授業の特徴と担当教員紹介

企業においてデコレーター、ディスプレイデザイナー、ビジュアルマーチャンダイジングの活動経験をもとに、社会的な役割を理解し、コンセプトやイメージに基づいたプランニングから実行までの作業を行う。作品を商品として捉えることでよりビジネスに近い提案方法を実践する。ピンワークのテクニックを学び、ビジュアルプレゼンテーションや作品作りに活かす

記載者氏名 柴田 優香

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14503	科 名 バッグデザイン科 3年	単 位	単位 2
科目コード 980030	科目名 特別講義 Ⅲ	授業期間	(通年)

担当教員(代表)：菊池明子	共同担当者：宮原勝一・大工原睦
---------------	-----------------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

ファッション全般に渡る、トレンド情報やプロダクトデザイン。また、グッズに関わるクリエイターや企業デザイナーの仕事。特殊材料やその活用方法などの、多方面にわたる講師による講義や演習を通し、専門科目のより一層の充実を図ることを目標とする。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1. コレクション情報	講師：萩原 輝美	・講義	2コマ
2. 卒業1年前から意識しておきたいこと	講師：山地 保	・講義	1コマ
	国際ファッション推進機構 機構長		
3. 金属アレルギーについて	講師：鈴木 久子	・講義	1コマ
	金属アレルギー協会 代表理事		
4.トレンド情報	講師：岡村 嘉子	・講義	2コマ
	(株)アイコニックシステ		
5. 皮革のメンテナンス	講師：静 孝一郎	・講義	1コマ
	(株)R&D 取締役社長		
6. 毛皮について	講師：梨本 チエコ	・講義、ビデオ	2コマ
7. ファッションビジネスの世界	講師：児島 幹規	・講義	1コマ
	文化出版局 装苑編集長		
8. 舘鼻則孝の世界	講師：舘鼻 則孝	・講義	1コマ
9. 撮影テクニック	講師：尾島 敦	・実習	4コマ
10. バッグデザインについて		・講義	2コマ
12. 靴職人から教わる縫製技術と製品知識	講師：玉那覇 孝二	・講義、演習	13コマ

評価方法・対象・比重

履修認定 (P表示)

主要教材図書 なし

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

皮革のメンテナンス、毛皮について、撮影テクニック、バッグデザインについて、靴職人から教わる縫製技術と製品知識など様々な業界で活躍する方々より、講義や演習を通して専門科目のより一層の充実を図ることを目指す

記載者氏名 菊池明子